



図書館だより

2011年11月 (No. 56)

【開館時間】 10:00~19:00

【休館日】 毎月第3月曜日 (11月は21日です)

千歳市立図書館

指定管理者山三ふじや

〒066-0046 千歳市真町2196番地の1

TEL 0123-26-2131

E-mail toshokan@e-fujiya.com

ホームページ <http://library.city.chitose.hokkaido.jp/>



今月のおしらせ



蔵書点検報告



今年の蔵書点検も無事終了いたしました。

皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

蔵書点検は図書館の本がきちんと正しい状態にあるかどうか
チェックするために、年に一度行われる作業です。

今年は残念なことに、例年より多くの本が
貸出し手続きをされずになくなっていきます。

閉館時はブックポストもご利用いただけます。

返しそびれている本がお手元にございましたら、返却をお願いいたします。



おはなし会

1階おはなしコーナー

- 5日(土) 14:00~ おはなしぐるんぱ
- 12日(土) 11:00~ くりねずみ (図書館職員)
- 13日(日) 11:30~ 日曜おはなし会 しゃぼんだま
- 16日(水) 11:00~ おはなしの会 ピノキオ
- 19日(土) 14:00~ おはなしぐるんぱ
- 20日(日) 11:00~ E絵本くらぶ (えいごおはなし会)
- 26日(土) 11:00~ くりねずみ (図書館職員)
- 27日(日) 11:30~ 日曜おはなし会 しゃぼんだま

上映会 2階AV室

- 11月6日(日)
14:00~14:35
「こびと観察入門」
[2010年作品]
- 11月20日(日)
14:00~15:50
「千の風になって」
[2004年作品・日本]
監督: 金 秀吉
出演: 西山 繭子
伊藤 高史 ほか



～新着図書・視聴覚資料～

10月に入った本の一部です



おばあさんの魂

酒井 順子 著／幻冬舎

私達は、いかにしておばあさんになるか。おばあさんが持つ力とは、何なのか。瀬戸内寂聴、佐賀のがばいばあちゃん、ターシャ・テューダーなど、偉大なるおばあさん達に学ぶ。

<367.7 サ>

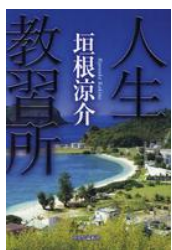


農家に教わる暮らし術

農山漁村文化協会

からだにも自然にもやさしい日用品づくり、ベランダでできる生ゴミ堆肥づくり、庭木の枝でできる炭焼きなど、日常の暮らしを豊かに快適にする農家のアイデアを紹介する。

<590 ノ>



人生教習所

垣根 涼介 著／中央公論新社

人生に落ちこぼれた人間たちが、小笠原諸島の謎の啓発セミナーに参加。自分たちが知らなかった日本と世界、美しい自然を知り、彼らの「なにか」が変わりだす。

<913 カ>



消失グラデーション

長沢 樹 著／角川書店

私立藤野学院高校のバスケット部員椎名康は、ある日、少女が校舎の屋上から転落する場面に遭遇する。そして、少女は目の前から忽然と消えた…。複雑に絡み合う謎に、多感な若き探偵たちが挑む！

<913 ナ>



クラーク島の島

エヴァ・イポットソン 著

三辺 律子 訳／偕成社

あやしい「おばさん」たちにさらわれた子どもたちが連れてこられたのは、伝説の生きものたちのすむ島だった…。ウィットあふれるストーリーテリングが魅力のファンタジー長編。

<K93 ク>



いのちのふね

鈴木 まもる 作／講談社

旅立っていった大切な人は、楽しかったことを思い出しながら、雲の上で幸せに心穏やかに過ごしている。そして、どんどん元気になり、若返り、赤ちゃんになって、この世界に戻ってきて…。再生と希望の絵本。

<E イ>

視聴覚資料は今年入ったものの一部で、館内でご覧いただけます



マイマイ新子と千年の魔法

監督 片淵 須直

声 福田 麻由子 ほか

新子は、転校生・貴伊子の笑顔が見たいと思った。クラスになじめずにいる貴伊子を麦畑に連れ出す新子。作家・高樹のぶ子の自伝的小説を基にした、海外映画祭で絶賛の作品。

<V13-3289>



ハリー・ポッターと死の秘宝

PART 1

監督 デイビッド・イエーツ

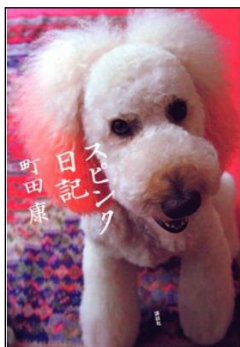
出演 ダニエル・ラドクリフ ほか

闇の帝王ヴォルデモートを倒すため、彼の魂を分けた“分霊箱”を探し、破壊するという危険な任務に旅立つハリー、ロン、ハーマイオニーの3人。ついに完結、シリーズ最終作の前編。

<V12-3762>

司書のオススメ本を紹介します

私のオススメ!



『スピンク日記』

町田 康 作 講談社

大きなプードルのスピンク。彼の目線で綴られる、彼と家族たちとの日常を描いたエッセイです。ものすごくインパクトのある表紙ですが、中身は意外にもものんびりしていて、笑いを堪えるのが大変なこともしばしば。犬好きさんはもちろん、そうでない方も、気になった方はぜひ一度手に取ってみてくださいね。(しお)

<914 マ>